

プロレタリアの政治勢力と決定的に對立すると同時に他方にはブルジョアジイの正常的な支配形態に對しても對立するが、結局においては帝國主義ブルジョアジイの支柱たるものである。

(三)ファッショ支配の實現される二條件はブルジョアジイの正常的な支配力の喪失、之れに代るプロレタリアの政治勢力の劣位である。かやうな情勢の下においてはファッショはブルジョアジイの支配を維持し又プロレタリアの操縦を暴壓するために急激に増大する。併してブルジョアジイが正常的な支配の力を喪失するに到らなくともプロレタリアの政治勢力の擴張ブルジョア政治支配の弱体化即ち經濟の混乱動搖恐慌によつてブルジョアジイとプロレタリアの中間を浮動する社會層の生活の窮乏不安、不満が極度に高まるにつれ、これらの社會層特にXを動員して漸時勢力を加へる(四)それ故に多かれ少なかれ反資本主義的扮装を以て出現するやうに見える。しかし、ファッショはブルジョアジイの反動支配の一形態にすぎないものであつて、イタリーのファッショ黨の如くドイツの國民社會主義労働黨の如く必然に、ブルジョアジイと結合するその支持物にすぎないものである。

(五)ファッショは國家主義、民族主義を強調し、議會主義を排し、又暴力を讚美する。それ故に最悪のブルジョア反動である。

二、わが國に於けるファッショ

(一)我國に於けるファッショはファッショの一般的規定の範疇を出づるものではなく、世界恐慌の眞只中であつて(一)獨占資本の支配の強化、金の危機や恐慌による中間社會層の生活の不安窮乏。(二)ブルジョアジイの政治支配の動搖及び中間社會層の疑惑、不満(三)日支戦争と第二次世界戦争の危機によつて發生したものである。

(二)特にXの内部の中間以下の間で發生したファッショを車軸として發展せんとしてゐる。これらの中間以下Xは言ふ迄もなく中間社會層の一部であつて軍縮による失業恩給減額の脅威その他ファッショ發生の一般的條件に基ついてロンドン協定の前後、結成されたものである。これらには現在、二分派、即ち、右翼——暴力主義——左翼——ヒトラー主義とある。現在は左翼が優勢である。

(三)Xのファッショと直接、間接に結合するファッショに生産黨その他の諸團體、並に無産階級より轉落せる社會ファッショとしての國家社會黨があるが、斯くてこの傾向はファッショと社會民主主義——無産市民層——農民——労働者階級との戦線を分裂擾乱するものである。これらファッショの諸勢力は町奴的繩張りや雜然たる志に向ひ、紛争對立をつゞけつゝある。

(四)我がファッショは未だ萌芽期にあり、又プロレタリアの政治勢力が強力でないために當面反資本主義的色彩を強く表現してゐる。しかし事實は單に二三の財閥への憎惡を向けることによつて資本主義に對する中間社會層の不滿を巧みに反らそうとするに過ぎないものである。

(五)これらのファッショは諸勢力の共通するところの主張は(一)資本主義の體制に見ないで派立した國民經濟の體制と見ること(二)プロレタリアの政治勢力に對して敵對すること(三)國民主義——民族主義——國家主義を強調すること(四)實質的には國家資本主義であるところの國家社會主義をお題目とすること(五)無産大衆のあらゆるXに於て遂行されるブルジョアジイの帝國主義戦争に賛成すること(六)事實はブルジョアジイの一階級の黨たるファッショ黨を階級の黨と規定せず、超階級の國民の黨となすこと(七)社會ファッショは何人よりも議會が有難くて大衆行動の嫌ふなくせに反議會主義、大衆行動主義を主張すること。

(六)帝國主義ブルジョアジイはファッショの極端に促進されて今益々反動化しつゝある。

ファッショは階級性を抹殺したゴマカシの國家理論をふりかざしてブルジョアジイのために被壓迫階級のXへの政治的闘争をに